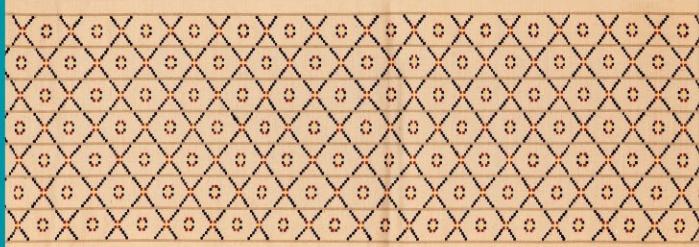


一般財団法人 沖縄美ら島財団 企画展
Okinawa Churashima Foundation Special Exhibition

沖縄の染と織の至宝

Masterpieces of Okinawan Textile Arts -The Yosho Tobaru Collection-
— 桃原用昇コレクション —



2023 10/27(金) > 11/26(日)

沖縄県立博物館・美術館
博物館特別展示室2 入場無料 Admission Free

Exhibition Gallery, Okinawa Prefectural Museum and Art Museum
9:00 ~ 18:00 (金・土は20:00まで) ※入場は閉館の30分前まで
休館日: 月曜日 ※11/14(火)は展示替えの為、休室
Hours 9:00-18:00 (Open until 20:00 on Friday and Saturday)
*Admission until 30 minutes before closing. Closed Every Monday.

沖縄の染と織の至宝 — 桃原用昇コレクション —

石垣島出身で東京都在住の美術・工芸品収集家、桃原用昇氏(1942-)が長年にわたり収集した膨大なコレクションから、八重山と深いつながりを持つ染織作家たちの作品を中心に、前期・後期あわせて87作品を紹介します。

本展では、石垣市在住で県指定無形文化財保持者の新垣幸子氏によく八重山上布作品と、石垣市出身で国指定重要無形文化財保持者(以下、人間国宝)の玉那覇有公氏による紅型作品をはじめ、人間国宝の鎌倉芳太郎氏による型絵染作品、県指定無形文化財保持者の城間榮喜氏の紅型作品、同無形文化財保持者の藤村玲子氏による紅型作品などを中心に展示します。さらに、人間国宝の平良敏子氏、宮平初子氏、與那嶺貞氏の織作品も併せて展示します。

8名の作家たちが、古典から新たな視点で創作した作品の数々は、現代の沖縄染織の至宝といえます。これらの作品との出逢いを通じて、琉球・沖縄の染織文化への理解と関心を一層深めていただけることを期待しております。



美しい
匠のてわざ。

前期 10月27日(金)～11月12日(日)【前期展示作品】40点 着物、踊衣裳、振袖、帯

後期 11月15日(水)～11月26日(日)【後期展示作品】40点 着物、踊衣裳、振袖、帯、暖簾
【前期・後期共通展示作品】7点 幕、うちくい、額装、帯

【出品作家】
(五十音順・敬称略)

新垣 幸子 (1945-) 県指定無形文化財「八重山上布」保持者
鎌倉 芳太郎 (1898-1983) 国指定重要無形文化財「型絵染」保持者
城間 榮喜 (1908-1992) 県指定無形文化財「びん型」保持者
平良 敏子 (1920-2022) 国指定重要無形文化財「芭蕉布」保持者

玉那覇 有公 (1936-) 国指定重要無形文化財「紅型」保持者
藤村 玲子 (1939-2015) 県指定無形文化財「びん型」保持者
宮平 初子 (1922-2022) 国指定重要無形文化財「首里の織物」保持者
與那嶺 貞 (1909-2003) 国指定重要無形文化財「読谷山花織」保持者

Masterpieces of Okinawan Textile Arts -The Yosho Tobaru Collection-

表面掲載作品(左上から反時計回りに)：「紅型幕」城間 榮喜／「竜舌蘭模様」玉那覇 有公
「蝶と牡丹」鎌倉 芳太郎／「読谷山花織」與那嶺 貞／「首里花織」宮平 初子
「木漏れ陽」新垣 幸子／「霞に大菊文様」藤村 玲子／「アキファテ柄」平良 敏子

〔主催〕

〔協力団体・個人〕 沖縄県立芸術大学、沖縄県立首里高等学校、沖縄県立博物館・美術館、沖縄伝統びん型保存会、(五十音順・敬称略) 那覇伝統織物事業協同組合(赤嶺真澄、野里愛子、比嘉麻南、山城有希子)、平田美奈子、八重山上布保存会、屋比久珠代、琉球びんがた事業協同組合(宮城守男)

〔後援〕 石垣市教育委員会、沖縄県教育委員会、那覇市教育委員会、沖縄県博物館協会、在沖八重山郷友会連合会、沖縄テレビ放送、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄ケーブルネットワーク、沖縄タイムス社、琉球新報社、八重山日報社、八重山毎日新聞社、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、エフエム那覇、那覇新都心通り会

